

科目名称：	乳児保育研究 I	
担当者名：	米川祥子・山本真里子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>社会の変化により、子育てにおいて「乳児保育」の需要が高まり、それに伴い、乳児保育の充実が求められている。本授業では、乳児保育演習 I での学びを基に、乳児保育には欠かせない子育て支援や保育ソーシャルワークについての学びを深める。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ●乳児保育における子育て支援、社会資源について自ら調べて理解する。 ●地域の子育て支援施設の現場参加を通して、保育ソーシャルワークについて理解する。 		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	
DP (2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP (3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)					0
全学DP (2)					0
全学DP (3)			60	40	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容 1》（米川） 臨床心理士・公認心理師（幼児相談）	《経験年数 1》 18年
	《内容 2》（山本） 保育士	《経験年数 2》 43年
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
理解度	授業内容を理解し、乳児保育に意欲を抱いている。	乳児保育者として望ましい対応を理解している。	乳児保育者としての対応の重要性を理解している。	乳児保育者としての重要性が何かを理解できない。
授業態度	授業の内容に興味関心を抱き、意欲的に取り組んでいる。	授業の内容に興味関心を抱き、課題をこなしている。	授業での課題をこなしている。	授業に興味関心を抱けない。
自身の考察	授業をふり返り、自分に引き付けて捉え、自分の考えを導き出している。	授業をふり返り、自分に引き付けて捉えることができている。	授業をふり返り、自分の思いを書くことができている。	授業をふり返り、内容の報告に留まっている。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 「乳児保育Ⅰ」の復習	1年次の「乳児保育Ⅰ」のノートを見返しておく	30分
第2回 アタッチメントについて(文献購読)	アタッチメントについての文献まとめを進めておく	60分
第3回 アタッチメントについて(文献購読)	アタッチメントについての文献まとめを進めておく	60分
第4回 親の思いを知る(調べ学習)	親の声をリサーチしておく	30分
第5回 地域の子育て支援施設(ひろば)見学・体験(フィールドワーク)	自分の訪問する施設の社会的役割について調べておく	15分
第6回 地域の子育て支援施設(ひろば)見学・体験(フィールドワーク)	自分の訪問する施設について調べておく	15分
第7回 地域の子育て支援施設(ひろば)見学・体験(フィールドワーク)	施設の訪問記録(メモ)をまとめておく	15分
第8回 地域の子育て支援施設見学・体験レポートまとめ	地域の子育て支援施設見学・体験のまとめを仕上げる	60分
第9回 地域の子育て支援施設(ひろば以外)見学・体験(フィールドワーク)	自分の訪問する施設の社会的役割について調べておく	15分
第10回 地域の子育て支援施設(ひろば以外)見学・体験(フィールドワーク)	自分の訪問する施設について調べておく	15分
第11回 地域の子育て支援施設(ひろば以外)見学・体験レポートまとめ	施設の訪問記録(メモ)をまとめておく	60分
第12回 地域の子育て支援施設見学・体験レポート発表会(プレゼンテーション)	訪問施設のグループでの発表資料を仕上げしておく	30分
第13回 地域の子育て支援施設見学・体験レポート発表会(プレゼンテーション)	発表会の振り返りシートを完成させておく	30分
第14回 社会的リソースとの連携の必要性(グループワーク)	体験レポートを見直しておく	10分
第15回 保育ソーシャルワークの実践	保育ソーシャルワークの実践のレポートをまとめておく	60分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。		
授業への積極的関与40% 提出物60%		
課題に対してのフィードバック		
各課題に対して、その都度コメントシートでフィードバックする。最終課題は、希望者には返却する。		
教科書・参考書		
<教科書> 「乳児の発達と保育」 エイデル研究所 授業中に該当ページを示し使用する。 「はじめて学ぶ乳児保育」 同文書院 「赤ちゃんの発達とアタッチメント」 ひとなる書房		